

医療局 平成30年度当初予算のポイント

照会先	経営管理課
	企画予算担当課長
	019-629-6306

経営計画（26～30年度）

安定した経営基盤の確立を図りながら、県民に良質な医療を持続的に提供していきます。

- ◆ 県立病院間のネットワークを活用した円滑な医療提供体制の構築や、他の医療機関等との役割分担と連携を一層進めます
- ◆ 医療提供に必要な職種の人員増、職種間の連携の強化などによりチーム医療を推進します
- ◆ 経営の効率化に積極的に取り組むほか、経営を取り巻く環境の変化に迅速に対応します

○ 平成30年度の事業運営

第7次岩手県保健医療計画を踏まえ、「岩手県立病院等の経営計画<<2014-2018>>」に掲げる5つの基本方向ごとの重点取組事項を着実に実行していくとともに、経営改善に向けて全職員一丸となって取組を進めます。

- 1 県立病院間・他の医療機関を含めた役割分担と地域連携の推進
 - ・ 職員の効率的な配置等による圏域内の一体的な運営
 - ・ 新公立病院改革ガイドライン、岩手県地域医療構想、医療政策動向や地域医療ニーズを踏まえた病床の機能分化・連携、病床規模適正化
 - ・ 地域包括ケアシステム構築への参画 等
- 2 良質な医療を提供できる環境の整備
 - ・ 入退院支援に携わる看護師及び医療社会事業士の体制強化
 - ・ リハビリテーション提供体制の強化
 - ・ 県立病院診療情報共有システムによる診療情報の共有、電子カルテの計画的導入 等
- 3 医師不足の解消と医師の負担軽減に向けた取組の推進
 - ・ 女性医師支援のための総合的な施策（岩手JOYサポートプロジェクト）の推進
 - ・ 奨学金養成医師の効果的な配置
 - ・ 新専門医制度に対応した関係団体・大学等との連携と後期研修医（専攻医）の受入れ体制の整備 等
- 4 職員の資質向上と人員の重点配置
 - ・ 看護、薬剤部門など各職域のキャリアデザインによる専門資格職員の計画的養成
 - ・ 看護職員等の確保及び適正配置に向けた取組の推進
 - ・ 各職域における業務の効率化への取組等による職員の負担軽減推進 等
- 5 安定した経営基盤の確立
 - ・ 診療報酬改定情報の共有による、新規・上位施設基準の早期算定に向けた院内体制等の整備
 - ・ 効果検証に基づく医療機器整備及びSPDデータの活用や多職種との連携による診療材料の廉価購入
 - ・ 多職種連携による業務指導等を通じた業務改善の推進 等

○ 平成30年度県立病院等事業会計予算の概要

1 予算の内訳

(1) 収益的収支

(単位:千円)

区 分	平成30年度 当初予算額	平成29年度 当初予算額	比 較
収 益	106,663,327	105,364,397	1,298,930
費 用	105,674,753	105,257,172	417,581
差引損益	988,574	107,225	881,349
経常損益	878,946	185,949	692,997

(2) 資本的収支

(単位：千円)

区 分	平成30年度 当初予算額	平成29年度 当初予算額	比 較
収 入	15,635,891	21,007,622	△ 5,371,731
支 出	24,223,175	30,436,064	△ 6,212,889
建設改良費	9,564,521	16,279,914	△ 6,715,393
企業債償還金	13,292,654	12,772,150	520,504
他会計からの長期借入金償還金	1,000,000	1,000,000	0
投資	366,000	384,000	△ 18,000
差 引 (内部留保資金充当)	8,587,284	9,428,442	△ 841,158

2 収益的収支予算の主なもの

(1) 医業収益

入院収益は、患者数の減少により減収を見込み、外来収益は、患者数の減少を見込むものの、高額薬剤使用の患者数の増加等により増収を見込んでいます。

- ① 入院収益 56,212百万円 (前年度比 △194百万円) 入院患者数 1,242千人 (前年度比 △31千人)
- ② 外来収益 26,565百万円 (前年度比 172百万円) 外来患者数 1,882千人 (前年度比 △52千人)

(2) 医業費用

給与と改定等に伴う増加があるものの、退職給付費引当金の減少などにより給与費は減少を見込む一方、燃料価格の高騰により経費は増加を見込んでいます。

- ① 給与費 55,458百万円 (前年度比 △147百万円)
- ② 経 費 14,869百万円 (前年度比 157百万円)

3 資本的収支予算の主なもの

(1) 建設改良費

配管設備等の老朽化に対応した大船渡病院の附帯設備改修工事費等や高度医療の充実を図るための医療器械の購入費等を計上しています。

- ① 大船渡病院附帯設備改修工事 3,274百万円
- ② 超電導磁石式全身用MR装置等医療器械購入費 4,345百万円

(2) 他会計からの長期借入金償還金

一般会計から借入れた長期借入金の償還金として1,000百万円を計上しています。

(3) 投資

計画的な医師養成を目的とする医療局医師奨学資金貸付金として、366百万円を計上しています。